



2021年10月25日発行
通算 第223号

会員だより 2021年
11月号

NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり
〒146-0094 大田区東矢口 3-17-2-103
Tel&Fax. 03-3734-7932 / npoogc@yahoo.co.jp
<http://hanamidori.sakura.ne.jp/>



大田区内の

遠回りしても見に行きたい公園
～秋のまちを楽しもう♪～

当会では「18色の緑づくり支援事業」を、講座や巡回調査を通してサポートしています。その中で、地域の皆さんが素敵な花壇づくりをしている公園にたくさん出会います。ぜひ「お散歩」コースに入れて立ち寄ってみてください。



鶺鴒の木松山公園



スクランブルパーク児童公園



下丸子公園

※各公園の詳細は大田区のホームページをご覧ください。



鶺鴒の木三丁目中央児童公園



新蒲田二丁目児童公園



久が原光児童公園



南蒲公園



御嶽神社



いずも公園



森が崎児童公園



西糺谷さざんか公園



道々橋まほろば児童公園



昴児童公園



蓮沼ジュニア児童公園



東調布公園



萩中南児童公園



千束児童遊園



若竹公園



南六郷一丁目児童公園



花壇の植替えに向けて



色とりどりのパンジー

ポット上げ当日(9月17日)の苗の様子

9月に南久が原圃場でポット上げた14,400株の小さな苗たちがすくすく育て、10月の半ばにはこんなに大きくなり、出番を待っています。11月には駅前花壇を始め各所で本格的に植付けが始まります。それまでもっともっと大きくなあれ！



キンセンカ



遅れてやってきたハボタン

★大森駅前花壇 土づくり ①10月9日(土)、②10月12日(火)、③10月16日(土)

秋の植替えシーズンのトップを切って、大森駅前花壇の旧株撤去と土づくりが始まりました。



大森海岸通り ヘルポート側(10月9日)



八幡通り入口交差点
(10月12日)



大森銀座商店街Milpa
(10月12日)

★下丸子花壇 土づくり・植付け 10月21日(木)

200株を超える黄色いパンジーの苗。花壇が明るくなりました。



大森駅東口駅前広場(10月16日)



10月16日(土)の大森駅東口駅前広場花壇の土づくりに、株式会社 巴商会「社会貢献ワーキンググループ」の方(男性2名)が春に続いてボランティアに来てくださいました。今後は、蒲田駅南口花壇の植付けに女性2名、大岡山駅前花壇メンテナンスに男性1名女性2名が来てくださる予定です。これからも当会では、区内企業のCSR取り組みの場として協力していきたいと思ひます。

「みどりの縁側」 平和の森公園展示室

★ネイチャーウォーク「木の実を探そう」 10月2日(土)

今回のネイチャーウォークのテーマは『木の実を探そう！』
木の実というと『どんぐり』が思い浮かびますが、木の種類
があればそれだけ実もあるわけで、想像以上のたくさんの
木の実がなっていることに大変驚きました。

そして、木々達は子孫を残す、増やすということを1番の
使命としているわけで、そこに対する工夫と情熱に感心し
きりでした。葉っぱと一緒に実を落とすもの、滞空時間を
長くして実を落とすもの…

以前のネイチャーウォークの時に木にも雄と雌があるとい
う事を知ったので、今回そこにも注目しながらより楽しく
散策できました。

今回も親子参加が多かったのですが、平和の森公園には
たくさんの木々があり、木の実にはいろんな意味があるとい
うことが理解できたかなと思います。これを機会に自然

観察に興味を持ってくれたら嬉しいです。

『工夫』ということにおいては、木々達の方が上手だと思
います。自分達の取り巻く環境が変われば、上手に変化をし
ていきます。そこに今の『コロナ禍』を生き抜くヒントがあ
るように思います。私達人間も原点に戻って、自然と共生
しながらコロナ禍を乗り越えていきたいと思いました。

(金澤利奈)



黒鶴稲荷野草レスキュープロジェクト②

～移植第一弾決行！～

このプロジェクトは都市部では見られなくなっている
在来の自生種を保護するだけでなく、活用することで
「自然」と「地域の歴史」を子どもたちに繋いでいくこ
とを目的としています。

6月に黒鶴稲荷神社で保護した植物の一部を、10月
5日に世田谷区立等々力小学校に移植しました。救出
を手伝ってくれた環境教育・調査の専門機関である
(株)Biotop Guild が世田谷区立等々力小学校で環
境学習の活動をしており、生息域外保全として協力し
てもらえることとなりました。プロジェクト

の監修をしている佐々木知幸さん(樹木医・造園家)
が、人と自然の適度な関わり方の重要性や活動の経
緯を説明した後、児童たちが土を耕し、整地し、保護
した植物を植えて、在来種の庭を作りました。

「将来はこういうことを学びたい」と言う子もいて、次
世代に繋ぐ一歩になったと、嬉しく思いました。

大田区内では、ふれあいパーク「梅田第二児童公園」、
教育委員会の協力により大森第四中学校と大森第六
中学校を移植先として決定しました。今後の経過はこ
のコラムでお知らせします。梅田第二児童公園での植
付けは講習会形式で行います。(案内同封)

(企画事業部 担当:内田亜紀)



＜今月の会員だよりの同封物＞ ◆「みどりの縁側」だよりの11月号 ◆「せせらぎ園芸セミナー」チラシ

◆活動アンケート(会員のみ) ◆「平和の森公園に自生する野草を探そう」チラシ

◆「黒鶴稲荷野草レスキュープロジェクト 講習&移植作業」チラシ

※有償活動に参加された方には、ポイントのご案内とポイント内訳票を同封しています。